



【代表事業者】井本商運(株)
【共同実施者】Marindows(株)

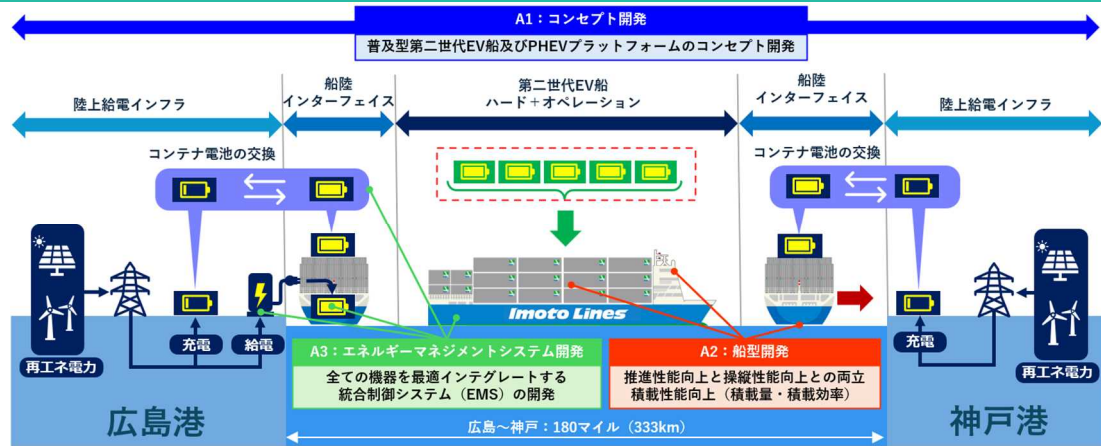
【実施年度】令和6~8年度
【委託額+補助額】1,206,302(千円)

概要・目的 既存船比50%以上のCO₂削減に加えて、コンテナ電池によって100% CO₂削減を実現する《普及型の第二世代EV船》及び、量産・低コスト化を実現する《標準化された汎用プラグインハイブリッドプラットフォーム》を開発する。第二世代EV船を量産・普及させることで、更なる脱炭素化の促進と同時に、内航海運にとって喫緊かつ最大の課題である船員不足(船員人数及び技術者・経験者の不足)を抜本的に解決する。

□技術開発の内容

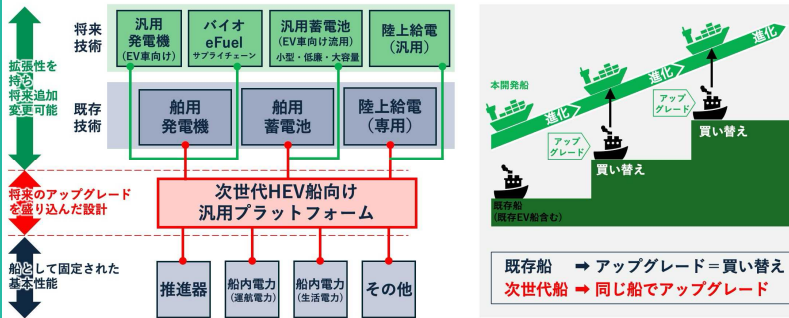
- 第一世代EV船4隻を通して得た3つの課題(①離着棧を含む操船性能向上、②インフラ統合によるゼロエミ範囲の拡大、③量産化及びコスト低減)を踏まえ、以下の技術開発を行う。
- ・A1:コンセプト開発、A2:船型開発、A3:エネルギー管理システム開発
- ・B:システム統合(船体建造)
- ・C:実証
- ・D:事業化
- 脱炭素船の普及を目指し、CO₂削減に加えて普及に必要な内航事業者にとって喫緊の課題である「船員問題解決」「生産性向上」「価値提供」を行う。
- 目標となる仕様及び性能
 - ・499総トンコンテナ船
 - ・既存船比50%のCO₂排出削減効果
 - ・最大速力12.5ノット(23.2km)、航続距離 5,000km(ハイブリッド運航時)
 - ・内蔵蓄電池×コンテナ蓄電池×陸上給電×発電機を組み合わせたハイブリッドEV船
 - ・非熟練船員で操作可能な統合操船支援システム

□システム構成図

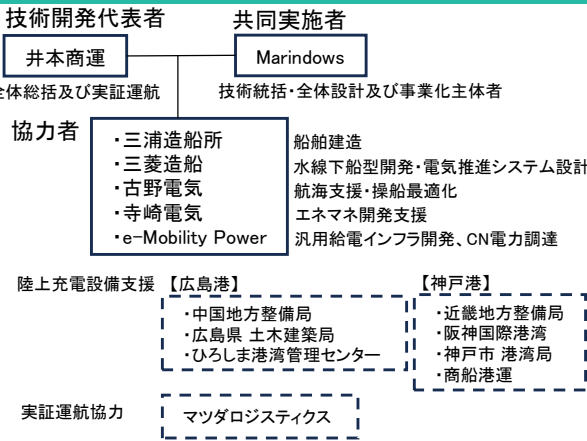


□主な目標

次世代標準電動プラットフォームの開発
将来陳腐化しない、技術の進化および深化に応じて環境性能等を拡張できる、アップグレード可能な次世代標準電動プラットフォームを開発する。



□実施体制図



□スケジュール表

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
A1.コンセプト開発	仕様策定・図面作成等	建造詳細設計への反映	効果検証
A2.船型開発	船型開発・模型試験等	詳細設計	性能評価
A3.エネマネシステム開発	調査・要件定義等	システム開発等	出荷前検証・作動検証
B.システム統合(船体建造)	基本計画作成	詳細設計	本船建造・効果検証
C.実証運航			実証
D.事業化に向けた調査・検討	海外・他業界の動向調査	法規制評価等	事業採算性整理等